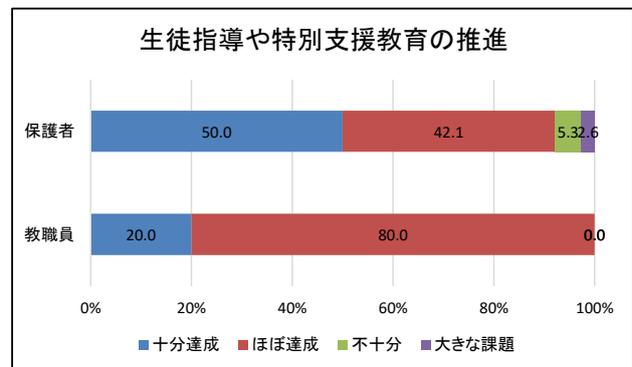
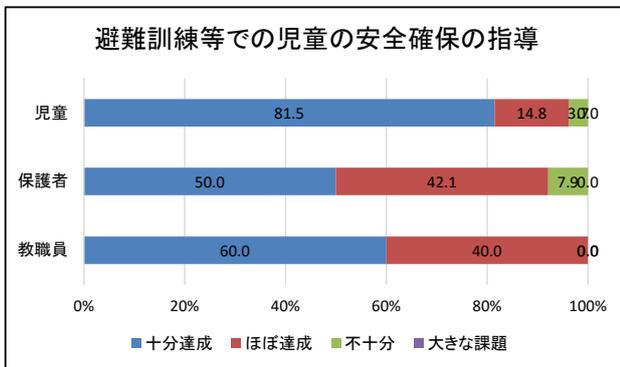
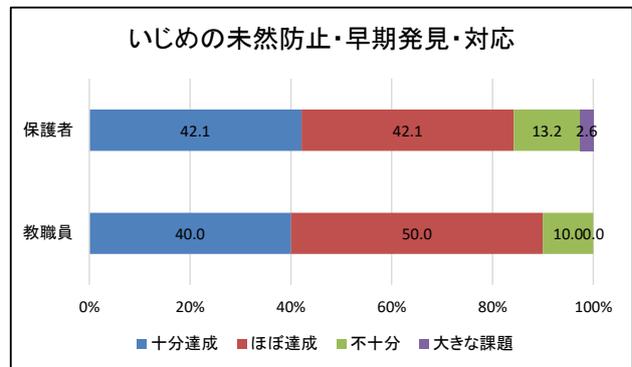
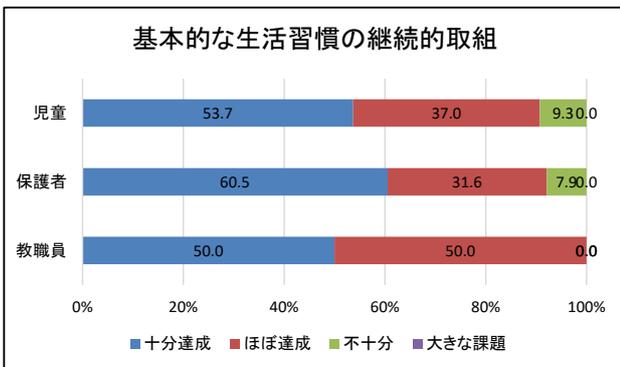
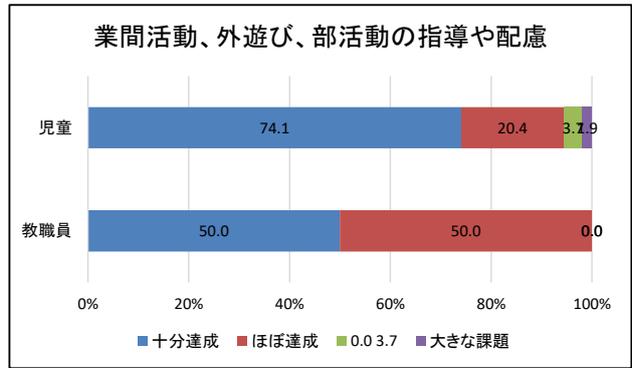
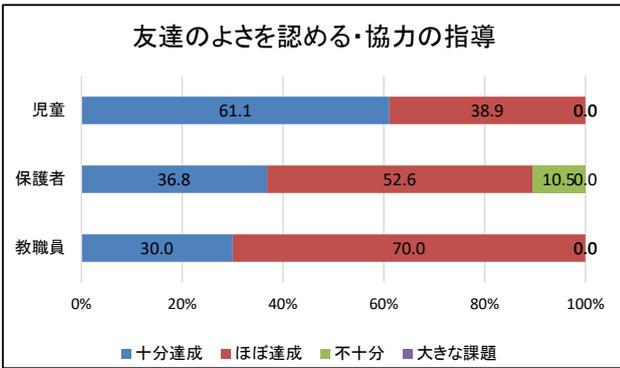
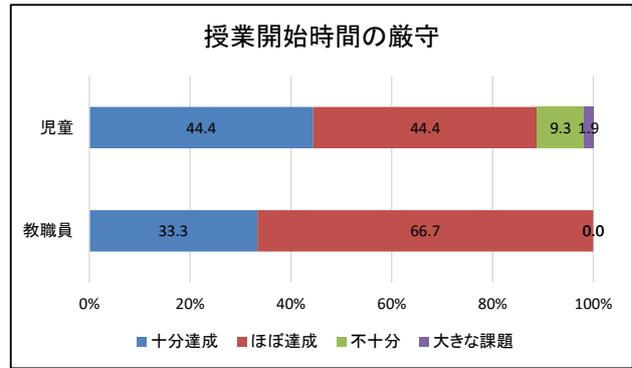
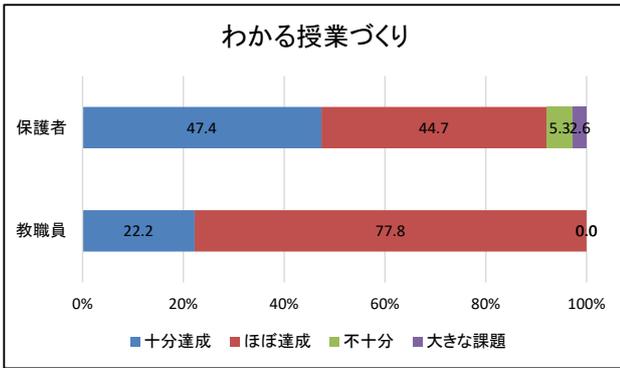
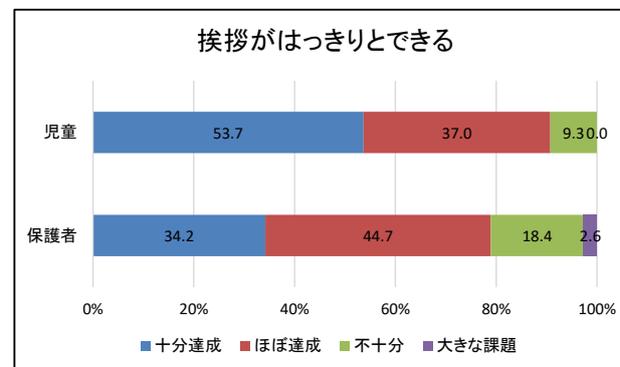
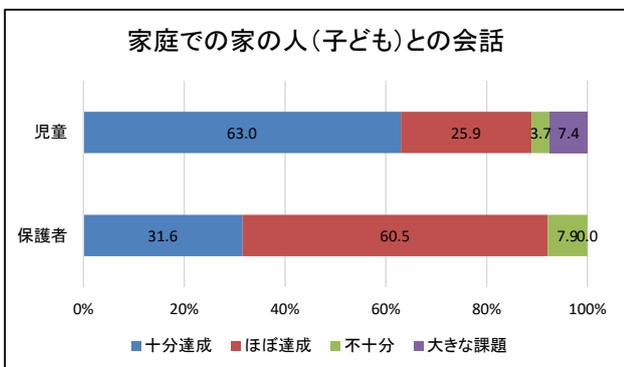
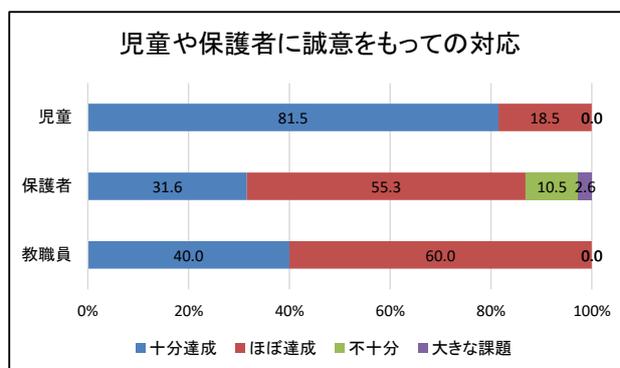
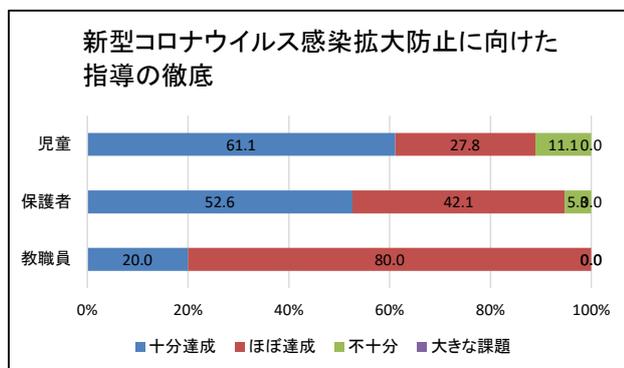
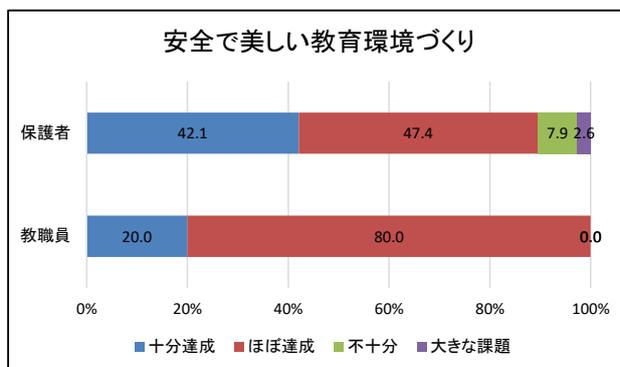
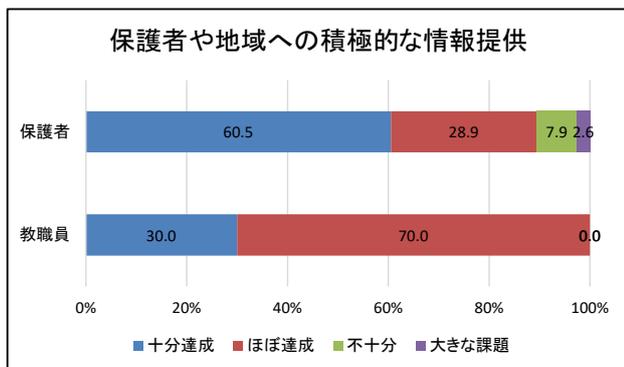


# 児童、保護者、教職員の比較





- ・「わかる授業づくり」「友達の良さを認める・協力の指導」「基本的な生活習慣の継続的取組」については「十分達成」の評価が高くなっています。一方で「不十分」の評価もあります。学校でも改善していくので、家庭学習を行う習慣をつけることや子どもをほめる、基本的な生活習慣を教えることなど御家庭でも御協力ください。
- ・「避難訓練等での児童の安全確保の指導」では、今年度消防署が来校しての訓練が実施できませんでした。校内では地震想定、火災想定、不審者侵入想定と年間を通して実施してきました。また、未帰宅児童対応については、新たにマニュアルを作成し、命を守るため、未帰宅の児童が発生したことを想定して訓練を実施しました。今後も訓練を繰り返し、危機意識を高く持って改善を図っていきます。
- ・「保護者や地域への積極的な情報提供」について約60%の方から「十分達成」という評価を頂きましたが、約10%の方は「不十分」という評価でした。コロナ禍ではありましたが、可能な状況を見つけて授業を公開し、学校HPも毎日更新して情報発信をしています。
- ・「安全で美しい教育環境づくり」では、地域の職工組合さんの御協力とPTAによる補修作業等御協力をいただき今後も整備を進めていきます。
- ・「家庭での家の人(子ども)との会話」については、まだ話し足りないと感じている子どもがいるようです。学校ホームページの内容も「こんなことがあったんだね。楽しかった？」という会話のきっかけにさせていただけると思います。
- ・「挨拶がはっきりとできる」については、今後も学校と家庭が協力して取り組んでいく必要があります。大人が進んであいさつをすることで、子どもの手本となれるようにしていきましょう。